

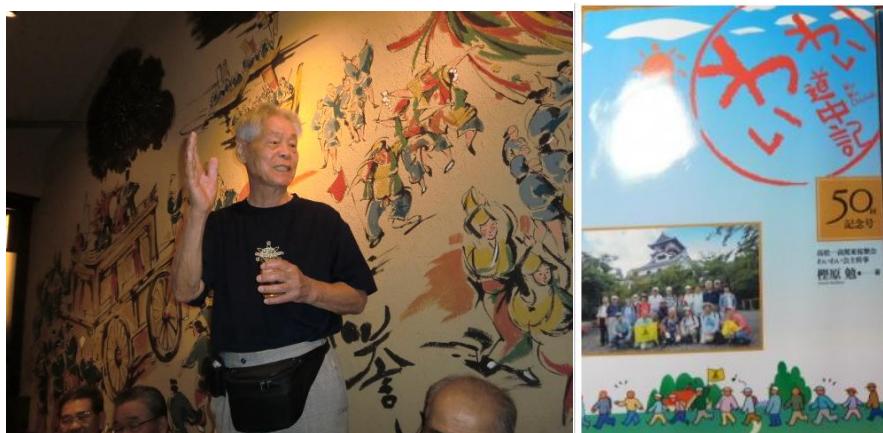
第4章 思い出に残るシーン

「　　」は筆者が加筆したものです。

○高橋妙様（50回記念号巻頭言を執筆頂いた福田博様のご長女）

毎年お年賀状を頂きながら失礼いたしました。生前父から樫原様の「わいわい道中記」を見せてもらったことがあります。お世話になりました。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

「お父様の第50回わいわい会（2013年7月）でのご挨拶が、いまでも強く印象に残っています。」



○貝出五十子様

わいわい会の様子、拝読しました 😊 今回こそと…スタートしなければ何事も…

行く道の選択まさに人生ゲームですね御前崎行きたかった 😊 貝出



※第86回わいわい会（2022年7月、貸切バスで）

○高間伊都子様

昨日〈第97回わいわい会〉はありがとうございました♪楽しかったです。久しぶりに長距離歩きました。去年は疲れから体調を崩してしまい、無病息災だった自分の体に自信が持てなくなりました。少しずつ取り戻せるかなと参加させていただきましたが、途中で何故か目の焦点が合わなくなる症状に見舞われ皆さまには本当に失礼いたしました。志木に着くと雪がチラホラ。何とか家までたどり着きましたが、皆さまが帰路に着く頃には吹雪になるのではと心配でした。早々と写真ありがとうございました。お疲れなのに何でも早いですね～カッシー館もこれから見せていただきます♪幹事さんは本当に大変ですね、よくわかりました。気疲れからお倒れになりませんように♪



※第97回わいわい会（2025年3月、大江戸線つたい歩き）

○富田正夫様

昨日（第69回わいわい会）は大変お世話になりました。お疲れ様でした。大変楽しいひと時を過ごすことができました。大先輩とご一緒でき、感激しました。わいわい会は先輩と後輩とのいわば「異年齢交流会」です。いろいろな人との交流、それも同じ学び舎で育った人たち、すばらしいです。

ところで、昨日の内容をカッシー館で拝見しました。写真や記事の内容で、いろいろな光景が脳裏に思い出されました。有難うございました。今後ともお世話になりますが、よろしくお願ひ致します。



※第69回わいわい会（2018年3月、根岸線つたい歩き）

○大崎武久様

私にとって思い出にのこるのは、平成 18 年 6 月 10 日（土）～11 日（日）に開催された第 22 回わいわい会です。すなわち、JR 三島駅集合し、来宮駅まで歩き、夕方民宿「みやこ荘」に 1 泊した旅です。当日の参加者は、13 名で、うち昭和 33 卒の同期が 6 名（男性 4 名、女性 2 名）で同期会のような嬉しい気持ちでした。あの時過ごせた楽しい時間が、今も思い出に残っています。特に、民宿での入浴後、揃いの浴衣での新鮮な魚の夕食と懇親会での楽しい語らいに、高校時代へ帰ることが出来、この会に参加して良かったとしみじみ思いました。また、夕食後のカラオケ大会でも大いに盛り上りました。

やはり、宿に一泊するという時間の余裕が気持ちをゆったりさせてくれ、お互いの親密さを深くさせるのでしょう。今回のわいわい会に限らず、多くのわいわい会に参加させて頂き、幹事の樫原さんには、いつも感謝しています。今回の旅は、いつまでも心に残ることでしょう。そして、私と共に参加頂いた皆さんありがとう。



※第 22 回わいわい会（2006 年 6 月）

「第 51 回から第 100 回わいわい会（うち 7 回コロナ禍で中止）において、38 回も参加頂き感謝です。この回数は、樫原主幹事を除き、トップです。感謝また感謝です。」

○福川恵璽様

44期の星？カッキーお疲れ様でした。

「節目の第50回わいわい会（2013年7月）において、お忙しい中、名古屋駅界隈の居酒屋まで駆けつけてくれましたね。感謝しています。」



○植田芳造様

お疲れ様でした。

「第66回わいわい会（2017年7月）において、浜松駅界隈にある“藤田”の鰻は最高でしたね。」



○福西昭夫様

100回おめでとうございます。樺原さん！ご苦労様でした。

「節目の50回や100回わいわい会での道中の会話が、強く印象に残っています。」



※第50回：伊勢大橋（全長1.1km）

※第100回：元町中華街への路

○多田野榮様

長い間ありがとうございます！

「第54回わいわい会（2014年7月）において、筆者のミスにより、多田野様の宴会での名セリフが強く印象に残っています。長良川の“迂回”と“鵜飼”との掛詞です。」



※長良川沿い



※宴会（螢）

※岐阜城

○中村貴代恵様

永年お疲れ様でした！

「第62回わいわい会（2016年7月）の2次会でご一緒したシーンが、強く印象に残っています。」



○村田啓子様

わいわい会参加7させて貰って楽しかった！

「第26回わいわい会（2007年6月）において、御主人様と参加頂いた想い出が、強く印象に残っています。」



○伴真弓様

長い間、会の運営大変感謝！！

「第7回わいわい会（2002年6月）の京王線つたい歩きでは、グループが2つに別れましたが、当時まだまだ普及していなかった携帯が効果を発揮しましたね。また、第88回わいわい会（2022年11月）で目黒線つたい歩き後、伴様宅にお邪魔して、ご馳走になりましたね。庭や室内での創意工夫作品は今でも強く印象に残っています。」



○谷本静雄様

わいわい会で歩くに当たり、思い出に残ことは、東日本大震災の翌日の第41回の出来事で、誰も来ていないのではないかと思いながら集合場所に行ったところ、主幹事ほか男女2人がきておりほっとしました。この時は、昨日の大震災につき、被災地の救援などを話ながら4人で一日歩きました。



※第41回わいわい会（2011年3月、生麦事件記念碑前）

○入江晴栄先生

長い間ご苦労さまでした。樺原君だからで来たんやと思います。また100回を目標に頑張ってください。

○田月宏様

「わいわい会」2025年12月6日で100回をクリアし満了 おめでとうございます！
樺原さんが長年にわたって努力され行動されたお陰ですね。樺原さんの人生の中で大きな素晴らしい実績です。お疲れ様でした！

わいわい会の切っ掛けで、私はわいわい会前日に自転車で走ることが多くあり、(43回)の時は前日に彦根から近江八幡を往復。当日は彦根からびわ湖大橋を渡って右廻りに150kmは走り、わいわい会の皆様と米原で合流し、全員での記念写真撮影後、彦根城に向かって歩きました。(50回)は名古屋市内を歩き、私としては、初めての「熱田神宮」へ行きました。

(54回)はS34年卒の同期会を兼ねたようになり、前日は長良川の鵜飼見物、そして岐阜城へ、天守閣からの山と川の景色は素晴らしいかったです。翌日は岐阜から自転車で走ることになり、途中関ヶ原古戦場に寄ったりして、琵琶湖の大津の手前まで同期の佐藤明弘さんらと走りました。この時は「わいわい会」の皆さんとご一緒できずすみませんでした。

(66回)は浜松で前日天竜川の土手を佐藤明弘さん、水野充さんと三人で走りました。翌日は浜名湖の上萬松山の龍潭寺まで行き、その後「わいわい会」の皆さんと合流して浜松まで歩きました。愛知県に行った前日は、渥美半島のサイクリングロードを6人で美しい海を見ながら走り。その後ホテルで皆さんと合流し、翌日皆さんと歩きました。



(94回) は京都太秦の映画村の見学でした。私としては初めて行ったところばかりで良かったです。



私は関西で皆さん関東での活動が多く、少ない参加でしたが、「わいわい会」のおかげで一高の皆さんと多くの出会いがあり嬉しかったです。楽しい思い出が沢山できました。また、100回も実行されたことは、樫原さんの永年にわたり行く場所・コースを決めたり、いろいろと計画された樫原さんの主幹事としての功績は大きいです。ありがとうございました。

わいわい会の切っ掛けで。前日は自転車で“走ろう会”、翌日は“歩こう会”となりました。

「いつもわいわい会の参加毎に、記念写真を送付頂き感謝です。また、自転車の旅毎に記念写真も。」



2025年11月
京都丹後鉄道
久美浜海岸